

B・B サンタカップ 争奪 大 利 根 少 年 野 球 大 会 要 綱

1. 趣 旨

本大会を通じて、少年少女の、スポーツを愛し、楽しみ、相互が協調・調和できる心と、総合的な運動による身体の健全な育成を図り、各チームの伸展に寄与すると共に、軟式野球の普及に努める。

2. 主 催 香取市スポーツ少年団

B・B サンタクロス協会

3. 後 援 香取市スポーツ協会

4. 主 管 特定非営利活動法人水郷軟式少年野球協会

5. 期 日 令和 7 年 1 0 月 1 2 日 (日) 雨天順延 1 9 日 (日) 2 5 日 (土) 2 6 日 (日) 1 1 月 1 日 (土) 2 日 (日) 予備日 3 日 (祝月)、8 日 (土)

5. 会 場 香取市与田浦運動広場 (香取市津宮 4 9 9 2 番地 8 5)

6. 受 付 午前 7 時 3 0 分～

7. 集合場所 香取市与田浦運動広場

8. 開会式 実施しない

9. 試合開始 午前 9 時 0 0 分

1 0. 試合会場 香取市与田浦運動広場

1 1. 表 彰 【団体】優 勝：賞状・優勝旗・優勝杯 準優勝：賞状・楯 第 3 位：賞状・楯

【個人】最優秀選手賞（優勝チーム）、
優秀選手賞（準優勝チーム）：
賞状・楯

1 2. 参加負担金 1 チーム 6, 0 0 0 円

受付時に納入

1 3. 審判員

- ① 各チーム 2 名の審判員を帯同すること。
(1 名は球審経験者であること。)
- ② 審判服を着装すること。
- ③ 担当する試合は、組合せ表に記載の審判担当表による。
- ④ シート番号の若いチームが球審及び 2 塁、他チームは 1 塁及び 3 塁を担当する。
- ⑤ 棄権する場合でも割り当てがある場合は必ず行うこと。

1 4. 記録員

- ① 各チーム 1 名の記録員を帯同すること。
- ② 自チームの試合時、対戦相手チームの記録員と協力し、実況アナウンス及び得点並びに試合経過を記録する。

1 5. 競技運営に関する注意事項

- (1) 対戦表決定後は、選手の追加、変更及び背番号などの変更は認めない。但し、疾病・負傷等の特別な場合は、資格審査の上、認めることもある。
- (2) ベンチは、組み合わせ番号の若い方を 1 塁側とする。
- (3) 打順表（メンバー表）の提出

大会本部へ試合開始 4 0 分前に監督、主将が 3 部（放送する場合は 4 部）持参してトスと球場等の諸注意を確認する。

(4) シートノック

- ① 補助員としてコーチ（背番号 28・29）を認める。
なお、コーチ 1 人のブルペン捕手を認める。（試合開始までの時間を許可する）
- ② 後攻チームより行い、時間は 5 分間とする。
- ③ ノッカーも必ず選手と同様のユニフォーム並びに、捕手はプロテクター、レガース、捕手用ヘルメット、ファウルカップを必ず着用すること。
- ④ 大会運営上、シートノックを行わずに試合を開始することもある。

(5) 雨天の場合

- ① 雨天時の態度は、午前 6 時 3 0 分に決定するので、各チームは事務局へ問い合わせること。
- ② 雨天の場合でも日程の都合上、球場が使用可能な場合は試合を行う。
- ③ 当日試合を全く行わない場合と、試合開始時間を繰り延べて行う場合があるので、大会本部からの連絡に注意すること。

(6) アウト時のボール回しは認めない。

(7) 大会中の怪我等事故については、各チームで責任を負うものとする。

(8) その他試合の進行については、球場責任者及び球場責任審判員の指示に従うこと。

(9) 試合中の選手への指示は、ベンチ入りした監督・コーチに限る。尚、選手を委縮させるような言動は禁止する。

1 6. 競技規則

- (1) 最新年度「公認野球規則」並びに（公財）全日本軟式野球連盟が発行する最新「競技者必携」及び「本大会規定」を適用する。
- (2) 使用球は、（公財）全日本軟式野球連盟公認球「J 号球」とし、主催者が用意する。
- (3) 金属・ハイコン（複合）バットは J・S・B・B のマークをつけた公認のものに限る。

1 7. 本大会規定

- (1) 大会は、トーナメント方式で行う。
- (2) 試合は、6 イニングスとする。但し、試合開始後 1 時間 3 0 分を経過した場合は、新しいイニングには入らない。
- (3) コールドゲームは、暗黒、降雨等及び得点差による場合とし、暗黒、降雨による場合は、4 回以降均等回の得点をもって勝敗を決する。
得点差による場合は、3 回均等回終了後以降 1 0 点差以上、及び 4 回均等回終了後以降 7 点 差以上の時に適用する。決勝戦も同様とする。
- (4) 6 回を完了又は試合開始後 1 時間 3 0 分を経過した均等回で同点の場合は、直ちにタイブレーク方式とする。
- (5) タイブレーク方式は、継続打順で、前回の最終打者を 1 塁走者とし、2 塁、3 塁の走者は順次前の打者として、1 死満塁の状態で行い、得点の多いチームを勝ちとする。
- (6) タイブレーク方式で 1 イニングを完了しても決着がつかないときは、試合終了時に出場していた選手による抽選で勝敗を決定する。

(7) 投手の投球制限

① 投手の投球数は、1日70球とする（4年生以下の投手については、60球とする）。但し、打撃中に70球（4年生以下は、60球）に達した場合は、その打者の打撃が完了するまでとする。

② 大会日程の都合上、1日2試合を行うことも想定しているため、その場合には、投手の投球制限については、1試合4イニング（特別延長も含めて12アウト・4年生以下は1試合3イニング9アウト）とすることもある。

- (8) 抗議権を有する者は、監督（ファールライン以内）及び当該プレーヤーとする。
- (9) 捕手（控え捕手も含む）は、プロテクター、レガーズ、マスク（スロートガード付き（一体化も可））、捕手用ヘルメット及びファウルカップ（女子選手は除く）を着用すること。
- (10) 各イニングの投球練習に際し、プロテクター等の装具を着けない選手が捕球する場合は、選手の怪我防止のため、立位で捕球すること。

18. 合同チームについて

出場チームは、参加する1チームの部員数が8名以下（1・2年生を除く）のチーム同士の場合は連合を認める。

※連合は選手数が少ないチーム同士数チームでも可能とする。

連合チームの中の1チームの部員数が9名を超えても連合していた他のチームの選手数が満たない場合はそのチームの選手登録は救済処置として認める。

ただし主催者の承認をえることとする。

19. 大会事務局

特定非営利活動法人水郷軟式少年野球協会 事務局

事務局長 鎌倉徹也

電子メール tkamakura555@gmail.com

携帯 Tel 090-1500-5534

20. 止むを得ず不参加となる場合は、早急に事務局へ連絡すること。